

社説：コロナ「第7波」 決め手欠く感染防止策

2022/7/16 京都新聞

新型コロナウイルスの流行「第7波」のスピードは、爆発的と言っていいほど速い。新規感染が1日10万人を超えた今冬の「第6波」ピーク時と同水準に早くも達し、国内の累計感染者数も1千万人を突破した。政府は新たな感染防止対策を発表したものの、「行動制限は選択肢としない」を基本方針とする。新味に欠けると言わざるを得ない。急速な感染拡大はオミクロン株の派生型で感染力が強いとされる「BA・5」への置き換わりが進み、ワクチン接種で獲得した免疫も減衰しているためとみられる。まだ重症者、死者数は低い水準だが、感染者急増は各地で続き、病床使用率が急上昇している。人の移動が活発になる夏休みやお盆の帰省シーズンを控え、警戒を怠ってはならない。とりわけ盛夏を迎えて熱中症のリスクも高まっており、「同時多発」となれば医療逼迫（ひっばく）を招きかねない。

第7波の急拡大を受け、政府はワクチンの4回目接種の対象を医療従事者らにも広げる方針を示した。接種対象は約800万人増えるが、予防効果は未知数だ。さらに主要駅や空港で100カ所以上の無料検査拠点を整備。観光業界支援の目玉の全国旅行支援は先送りする。若い世代の3回目のワクチン接種を促すという。ただ岸田文雄首相は「今は感染症対策と経済社会活動の両立が大事だ」として、まん延防止等重点措置適用など行動制限は求めない方針に固執する。当然、打つ手は限られ、手詰まり感が強い。

確かに急激な物価高や円安の悪影響が懸念される中、経済社会活動を抑制するのを避けたのも理解できる。だが、最も重視すべきは国民の命と健康である。コロナ感染対策は、試行錯誤しながら既に2年半に及ぶ。この間の反省に基づき、医療や検査体制などの目詰まりに切り込み、大胆に改善せねばならない。経済社会活動と感染予防のバランスをいかに取るか。コロナ対策は一筋縄ではいかない。科学的根拠に基づく方針を明確に示し、国民に丁寧に説明して理解を得てこそ実効性が高まる。

今日のyoutube紹介下線をクリック

●東京都、新たに1万7790人の感染発表 6日連続1万人超

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9d2f06c1b3614400f4bb5a3522a9bcb15bf7fb6c>

●ポルトガル BA.5「感染者最大、重症者最少」収束へ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1ecbaf8bbe9c72628a2005b3d5536c65fd1c387a>

●感染急拡大のなか3連休 観光客のにぎわい戻る

<https://news.yahoo.co.jp/articles/56cd6934fe3e43d27321bd3926ba89e888181e56>

●新型コロナ感染4000人超え 沖縄で急拡大続く

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3362d0ee52f5785835db8c53e71d2d2d142bb808>

●新型コロナ 高知県で新たに325人感染確認 日曜としては過去最多

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a815d83591f7fcb311e2224c7ad52af1a7a3af4e>

●新型コロナ感染者「8月に40万人近くも」 田村前厚労相が見方示す

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cbee978bd94214541032d12e140a4666a512b2af>

●コロナ vs アレの接種怖いのはどっちだ？ 全国有志医師の会が若者への接種に反対！

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cbee978bd94214541032d12e140a4666a512b2af>

今日のPDF紹介下線をクリック

●新型コロナのオミクロン株に感染した人は、どれくらいBA.5に感染しにくいのか？

●国内の新規コロナ感染、初の11万人超え…沖縄の病床使用率が6割超に

●アベノマスク納入をめぐる業者メールがあった！存在しないと説明していた国が一転